

平成31年度 学校経営シラバス（上士幌高校）

学校の現状

- ①創立69年 全日制普通科2間口
生徒数 160 名
 - ②少子化に伴う生徒数の減少(上士幌町・士幌町出身者27%前後の生徒が入学
帯広・音更出身が全体の70%以上
 - ③熱意・チームワーク・バランス感覚のある教職員
 - ④多様な進路希望の実現
H30 年度:進学者 29 名【大学 13 名・短大 5 名・各種 専門学校 11 名】、就職者 24 名 浪人 1 名 他 2 名
 - ⑤ユニバーサル・マナーの職員意識
 - ⑥複数顧問体制での部活動運営
- ### 学校の課題
- ①授業改善(授業の工夫と充実)の推進
 - ②新学習指導要領完全実施(令和4年度)に向けた確実な準備と移行
 - ③協働体制の構築
 - ④基礎学力・体力の定着と自ら学ぶ意欲の向上
 - ⑤多様性を大切にする教育の推進
 - ⑥教職員の心身の健康を損なうことのない働き方改革の推進
 - ⑦地域とともにある学校づくり

校訓 敬愛 創造 自律 学校教育目標

- 1 持続可能な社会づくりをめざし、知識を深め、自ら課題解決する能力と創造力を養う。
- 2 心身の調和を図り、健全な人格の形成に努める。
- 3 適性を重視した進路目標を確立し、その実現に努める。

教育の指標

思いやりの心を持ち、自ら考え、自ら学び、自ら行動する人となろう

学校経営方針

- 1 生徒たちが「社会の中でよりよく生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）」を育むために、自ら考え、判断し、決定し、行動する資質を育む特色ある教育活動を展開する。
- 2 教職員間の日常の対話と議論を通して合意形成を図り、協働意識を高め、組織連携による指導体制の充実を図る。
- 3 地域との行動連携により、地域とともにある学校づくりを進める。
- 4 育成を目指す資質・能力（「何ができるようになるか」、**SDGs**（持続可能な開発目標）及び将来ビジョンを持って生徒が自ら言語化できるような教育活動を推進する。
- 5 全ての教職員が授業や授業準備等に集中し、健康で生き生きとやりがいをもって勤務でき、教育の質を高められる環境を構築する。

本校への期待

- ①生徒一人一人を大切に教育
- ②地域とともにある学校づくりの推進
- ③進路・部活動実績の向上
- ④身だしなみや礼儀
- ⑤生き生きと楽しく教育愛のある学校（体験的活動、学校行事）

校長のビジョン

○各教育活動における育成すべき資質・能力を明確にし、保護者・地域への学校理解を深め生徒と共に成長できる教育の推進

めざす学校像

活力あふれる十勝管内北部の伝統校

- 社会の中でよりよく生きる力を育てる学校
- 進路実現に向け、生徒の第一希望を叶える学校
- 地域とともにある学校
- SDGsの17の指標の実現に貢献できる学校

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

生徒の能力を伸ばす教育課程の編成・実施

- ①資質・能力の育成を目指す主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ②カリキュラム・マネジメントの充実
- ③生徒の発達の支援、家庭や地域との連携・協働等を重視
- ④総合的な探求・学習の時間・特別活動の工夫と充実

評価の観点

- ①授業改善の方策について、情報共有し、対話・議論ができていたか。
- ②ビジョン・目標の実現に向けて、教育課程を編成し見直したか。
- ③学級経営や生徒指導、キャリア教育の工夫と充実やICTの活用に向けたか
- ④授業評価、生徒のリフレクション、学びの基礎診断、定期考査、小テスト、各種調査を活用した授業改善の意識が高まったか
- ⑤個々の生徒のニーズに応えた進路実績が向上したか
- ⑥教育課程外の学校教育活動である部活動について、教育課程との関連が図られるようにするとともに、持続可能な運営体制が整えられるようにすることができたか

教職員の意識改革、資質向上、働き方改革の推進

- ①「気配りのできる」協働体制の確立
(学年と各分掌の連携強化、校内支援体制の充実)
- ②普段の授業研究や校内外での研修への積極的な取組
- ③授業力向上
- ④優先順位をつけて大胆に業務を減らし、地域・家庭の協力を得ながら、社会全体で、生徒を育む体制の構築

評価の観点

- ①「気配り・目配り・心配り」のある協働意識の構築が図られたか
- ②授業評価、公開授業、校内研修を効果的に活用できたか
- ③学校経営方針、重点事項を判断基準として浸透しているか
- ④SDGsの17指標を意識化した教育活動を実施したか
- ⑤働き方改革に関する各種評価・研修を実施できたか
- ⑥目的と手段の観点から、スクラップ(見直し)の推進できたか

地域とともにある学校づくり

- ①HPや学校だより、PTAだよりなど、積極的な情報提供
- ②地域との連携強化、校内支援体制の充実
- ③生徒確保に向けた中学校訪問、学校説明会など
- ④振興会との連携充実（生徒募集活動等）
- ⑤小中高の連携推進（かみしほろ学園等）
- ⑥学校運営協議会制度の機能化

評価の観点

- ①生徒、保護者、地域にわかりやすく情報提供したか
- ②家庭や地域との連携が図られたか
- ③学校評価・PDCAサイクルに基づく学校改善が図られたか
- ④入学における地区別生徒数を基準に分析し出願者数が増えたか
- ⑤CSコーディネーター等と十分な連携・協力できたか
- ⑥学校運営協議会と育てたい生徒像や学校像等に関する学校運営ビジョンを共有できたか。

学校関係団体 OPTA(父母と教師の会) ○クラブ後援会 ○北海道上士幌高等学校振興会